下野市立国分寺東小学校

１　学校課題

「主体的・対話的で深い学び」の実現する授業を目指して

～国語・算数を中心に「学び合いを支える」能力を育てる工夫・改善～

２　研究計画

（１）主題設定の理由

昨年度「『主体的・対話的で深い学び』を実現する授業を目指して」を研究主題に掲げ、算数・国語を中心に研究してきた。導入の工夫改善により主体的に学ぶ意欲が高まった。「全国学力・学習状況調査」と「とちぎっ子学習状況調査」の検証分析から、算数では良好な成果を収めたが、国語では、読解力や言語に関する知識に課題があることが分かった。そこで「学び合いを支える」能力を基礎基本、コミュニケーション能力、家庭学習と考え、基礎基本を育むための常時活動やお互いの考えをよりよく交流させるための授業の工夫・改善を図り、家庭学習を充実させるアプローチの仕方を試していく。

（２）研究の仮説

「基礎基本の日常への位置付け」と「よりよい意見の交流のさせ方」についての授業実践を通して、より深く学び合う児童の育成ができるであろう。また、感染予防のために職員の研修の仕方も制約があり、データを共有して相互に実践を重ねることを通して研究を深められると考えた。

３　研究内容

（１）具体策

①授業研究の充実

- 興味・関心を高める効果的な教材の工夫・改善
- 帯学習※の開発、共有、システム化

※授業の始め３～５分程度、スキルを高めるために継続して行う活動

②朝の活動の有効活用

- 継続的な読書の時間の確保（選書の指導）

③個に応じた学習活動

- 補充的、発展的な学習の実施（帯学習、家庭学習）
- 文章を書かせるための教材開発（条件付き、題材設定）

④ＩＣＴ機器の効果的な活用

- 課題の提示、画像での説明、振り返り、作品制作などでの活用
- 教材として蓄積されたソフト等の活用（教材コンテンツ）

⑤指導体制や学習形態の工夫

- グループ活動・ペア学習における対話ツールの紹介・開発
- 座席の形態、話者の順番（話合いの目的に応じて）

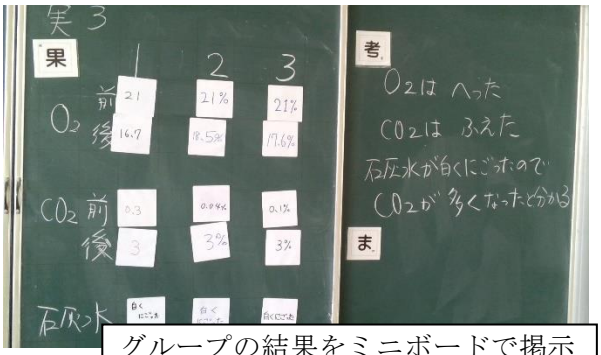
⑥家庭学習の習慣化

- 家庭と連携した家庭学習習慣の定着（家庭学習カードの工夫）
- 親子で学習について話し合う習慣の啓発（音読、予習復習の仕方の例示）

⑦小中一貫教育との関連

- 国分寺中学校区での授業スタイルの統一を図る
- 家庭学習協調週間の実施
- 密にならない対話ツール等の共有

ア）ミニホワイトボード：ラミネート紙。心情円。
発言が不得手な児童も書いた考えを見せ合うことならできる。感染予防関係なしに児童の考えを表現させるための手助けになる。
イ）付箋紙。
体育の授業で、一連の運動を拡大プリンターで印刷。児童が感じたポイントなどを書いて貼ることで間接的に対話ができた。
ウ）友達のノートにサイン。
友達のノートを“見る”時間を確保し、サインにて賞賛し合った。



グループの結果をミニボードで掲示

色画用紙を折り重ねて心情円

（２）研究の実際

日時		学年	研究授業（教科・単元など）
10/9	人権教育研修　事前授業	5	総合「広げよう福祉の輪」
10/20	初任研・一人一授業公開	2	国語「そうだんにのってください」
10/23	初任研・一人一授業公開	6	理科「水よう液の性質」
11/25	中堅教員研　事前授業 初任研・一人一授業公開	1	算数「ひきざん」
12/4	中堅教員研　事前授業 初任研・一人一授業公開	1	道徳　しんせつにすると気持ちいい 「はしの上のおおかみ」
12/23	一人一授業公開	3	音楽「いろいろな音のひびきをかんじとろう」
2/2	一人一授業公開	5	理科・保健体育「ヒトのたんじょう」

４　本年度の成果と課題

（１）　研究の成果

①「主体的」に学習に取り組めるような導入の工夫が推進された。
②「一人一授業公開」の完全実施は難しかったが、研修だより等で授業者と参観者の紙上研修が実施され、参観できなかった職員も共有できた。
③国中学区一斉の家庭学習協調週間の実施により各家庭での取り組みに同一歩調が見られ、ゲームやインターネットの利用時間の見直しがなされた。
④臨時休業における学習で、一人で「主体的に」学ぶ必然性が生じ、家庭学習や自主学習ガイドの作成が充実した。
⑤家読を週１回実施したので本に関する親子での会話が充実した。
⑥対話ツールの活用により、密にならずに意見の交換ができている。
⑦短い時間で対話が深まるような視点の示し方を研究している。

（２）今後の課題

①単元あるいは単位時間で目指す児童像を明確にし、ねらいと評価の一貫性を図る授業を実践していく。
②家庭と連携し、家庭学習の内容充実や生活時間の改善を図り、よりよい生活の基礎を築く。
③今後、個別にタブレットが貸与されるのに伴い、効果的な活用やアプリの紹介等、ＩＣＴ機器を便利なツールにするための研修を充実させる。